

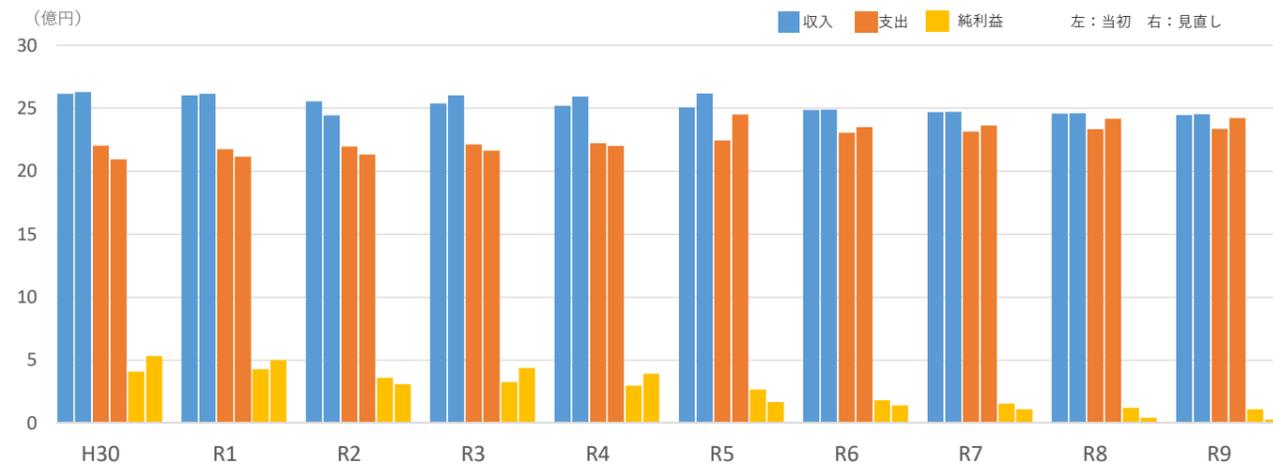
第2期稲沢市水道ビジョンの中間見直しについて

1 概要

稲沢市水道事業は、「強靱」「安全」「持続」を基本目標に掲げ、平成30年3月に第2期稲沢市水道ビジョンを策定しました。これまで環境の変化や直面する課題に対応しながら、安定経営に努めてきました。

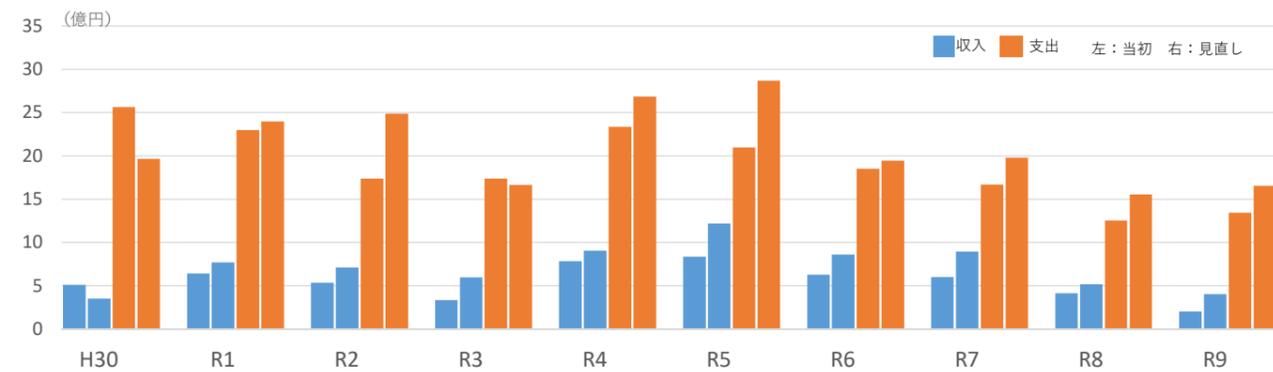
この度、計画策定から5年が経過し中間年度となることから、事業の進捗管理とともに事業推進のフォローアップとして、新型コロナウイルス感染症対策に伴う準備料金の免除や物価高騰による事業への影響なども反映し、後期計画（R5～R9）を見直しました。なお、見直し後の数値は、令和4年度までは実績値、令和5年度以降は計画値です。

2 収益的収支



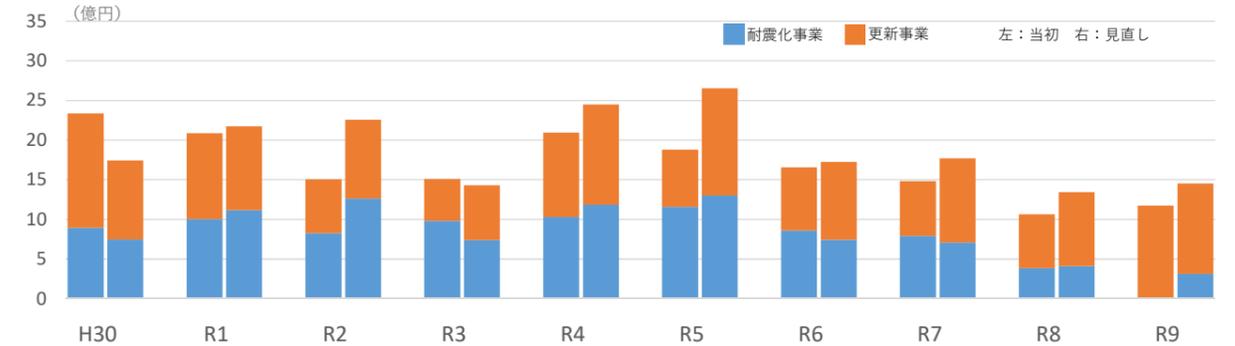
- ・収入の約9割を占める水道料金は人口減少に比例して減少している。実績値は計画を上回ってきたが、稲沢市人口ビジョンに基づき、後期の水道料金の収入見込みは当初の計画どおりとする。
- ・令和5年度以降の支出が計画値より増加するのは、施設整備費の増加により減価償却費が増えるためである。
- ・令和5年度以降の純利益は当初計画値を下回るが、計画期間内は黒字で推移する見込みである。

3 資本的収支



- ・施設整備費の増加により支出が増加している。
- ・収入額が支出額に対し不足する額は、内部留保資金で補填する。しかし、資金が減少傾向にあるため、企業債借入額を増額する。このため収入額も増加している。

4 施設整備費（投資計画）



- ・令和8年度までに完了予定だった基幹管路及び重要主要支線管路の耐震化事業は、国庫補助金を有効活用するため、令和10年度完了予定とする。
- ・支障移設による管路更新事業が計画時の想定より増加したこと、また物価高騰の影響による工事単価の上昇を見込み、事業費が増加した。

5 企業債借入額

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
当初	100,000	340,000	275,000	150,000	550,000	600,000	400,000	347,000	236,000	127,000
見直し	67,100	406,200	300,000	250,000	550,000	600,000	600,000	650,000	300,000	300,000

- ・施設整備費の増加により企業債借入額を増額する。

6 企業債残高

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
当初	3,064,592	3,213,589	3,279,996	3,225,495	3,558,625	3,966,303	4,195,857	4,379,567	4,450,196	4,429,051
見直し	3,205,458	3,420,655	3,512,062	3,557,561	3,897,475	4,317,690	4,756,494	5,238,269	5,365,473	5,505,402

- ・企業債借入の増額により当初計画値より増加している。

7 内部留保資金

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
当初	1,483,794	1,088,908	1,066,804	844,428	517,889	462,170	362,218	388,967	601,254	523,718
見直し	2,350,341	2,083,129	1,548,373	1,806,133	1,436,366	1,052,122	1,102,450	1,140,689	1,153,835	973,232

- ・企業債借入の増額により後期の内部留保資金も当初計画値より上回っているが、資金は減少傾向である。

8 まとめ

災害に強い水道を目指して平成28年度から耐震化事業を重点的に実施してきた結果、令和3年度末の基幹管路の耐震率は愛知県下で1位となっています。しかし、収入面では人口減少や節水機器の普及により今後も給水収益の減少が見込まれます。今回の中間見直しでは、安定経営のための財源として企業債借入を増額しました。これにより給水収益に対する企業債残高の割合は、同規模団体と同程度になる見込みです。

今後も安定した水道事業を継続していくために、長期にわたる財政計画に基づき常に進捗管理し、効率的な経営に努めます。